



【発行者】
社会福祉法人
甲府市社会福祉協議会
地域福祉推進課（井出）

TEL 055-225-2118
FAX 055-225-3171

新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した

地域福祉活動再始動に向けてのポイント

新型コロナウイルスの感染拡大により、地域住民による地域福祉活動の休止や活動自粛が余儀なくされ、これまで地域が取り組んできた「つながりづくり」にも大きな制約が生じています。感染拡大の影響が長期化する中で、活動再開の機会を見出すことができない地域も多くみられますが、一方で活動の再始動や新たなつながりづくりを模索する地域も見られます。そこで、今回は、全国社会福祉協議会発行の資料を参考に、地域福祉活動の再開に向けたポイントについて、紹介したいと思います。

1 担い手同士で話し合う

活動に対する考えを率直に共有する

担い手の中には、活動再開を躊躇したり、一年以上にわたる活動の自粛で活動意欲を失いかけてりしている人もいるかもしれません。地域住民等による地域福祉活動は、もともと自主的・主体的なもので、無理強いをしても長続きしないことが多いようです。

コロナ禍においては、それぞれの置かれた立場、環境によって、活動に対する考え方も様々です。互いの考えの違いを認め合い、一人ひとりが無理をせず、まずは、今できることは何かを考えてみるのが大切です。



2 活動の意義を見つめ直す

自分たちの活動にはどんな意義があるのか考える

今まで当たり前であった日常が失われ、非日常を体験している今だからこそ、地域住民による地域福祉活動の意義を再認識したという声も聞かれます。例えば、いきいきサロンの参加者からは、「活動が休止になって、サロンがとても大切な時間であったことが分かった。」という声も聞かれます。自分たちの地域福祉活動は地域にとってどんな意義があるのか、担い手同士が共有することが重要であり、これまでの活動を振り返ることは活動の再開を検討する上で、大切なプロセスの一つであると考えます。



3 感染防止について正しい知識を身につける

正しくおそれ適切な対策を講じるための知識を得る

参加者の安心や周囲の理解を得るためには、新型コロナウイルス感染拡大防止に対する正しい知識を身につけることが大切です。市社協では、感染症に詳しい専門家からの助言や研修会を実施できるように関係機関と調整することもできますので、必要に応じて市社協までご相談ください。



4 地域福祉活動の再開方法等を検討する

可能な限りリスクを低減した活動を検討する

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮して地域福祉活動を再開・実施する場合は、3密を避ける、マスクの着用、手洗い・手指消毒等の基本的な感染防止対策を講じ、感染及び感染拡大のリスクを可能な限り低減し実施することが求められます。必要に応じて、これまでの活動方法を見直したり、これまでと異なる活動方法を検討・実施することも考えられます。例えば、3密を回避するため、サロン活動では屋外での活動に切り替えて実施している事例は、多くの自治会で見られます。



5 住民が安心して参加できるように情報提供を行う

目に見えない感染症だからこそ対策を可視化する

地域住民の中には地域福祉活動への参加を躊躇する人も少なくないと考えられます。活動再開にあたっては、取り組んでいる感染防止策をチラシ等に盛り込み、少しでも安心して参加できるよう対策を分かりやすく伝えましょう。



6 地域福祉活動の再開に向け地域の理解を得る

地域福祉活動再開への第一歩は地域の理解を得ることから

新型コロナウイルス感染拡大防止は、地域全体の課題であり、地域住民の安全を第一に考えると、活動の再開に対して様々な意見があると思います。このため利用者だけでなく、地域福祉関係者に対しても、活動の必要性を説明するとともに、再開にあたり講じる感染防止対策について情報提供を行い、活動再開への理解を求めます。

市社協では、地域の実情に即した地域福祉活動の進め方について、皆様と一緒に考えていきたいと思っています。



7 各地の地域福祉活動を参考にする

同じ悩みを抱える各地の取り組みを今後のヒントに

新型コロナウイルス感染拡大による影響が長期化する中で、つながりを途切れさせないよう、つながりを維持しようとする取り組みが、全国各地に生まれつつあります。市社協では、地域福祉活動再開のヒントとなるように、こうした新しい取り組みについても皆様にご紹介していきたいと思っています。ぜひお気軽にご相談ください。



【参考・一部引用】社会福祉法人全国社会福祉協議会（令和2年7月22日発行）

「新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した地域住民等による福祉活動・ボランティア活動の進め方」

春以降のワクチン接種計画が具体化しつつありますが、今もなお、新型コロナウイルス感染拡大の不安が拭えない毎日が続いています。令和3年度の地域福祉活動についても、まだまだ明るい兆しは見えませんが、まずは今回のポイントを参考にみんなで話し合いを行ってみたいかがでしょうか。焦らず、無理せず、できることは何か考え、活動への想いを共有することが、コロナ後の活動の原動力につながるものと思います。

✉ E-mail: yide@kofu-syakyo.or.jp

